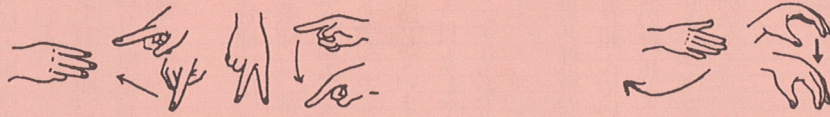


みんなの広場



※上のイラストは、題字と同じ内容を指文字と手話で表したものです。

(題字は千葉理事長)



今年も良い出来です!

～「ジョバンニ」しいたけ念願の収穫～

やさわの園の支援センター「ジョバンニ」では、活動の一つとして、しいたけ栽培を長年行っています。

毎年、春に原木へ種菌を植え付け、当番が毎日欠かさずに散水を行ってきました。

植菌から約1年後、待ちに待った収穫の日を迎え、思わず笑顔もほころびます。

主な内容

(ページ)

- 副理事長就任あいさつ、基本理念・基本方針 2
- 各施設から 3
 - ・いわて子どもの森
 - ・みたけ学園児童デイサービスセンター「とれいん」
 - ・共同生活事業所ちふな「はとホーム」
- [特別企画] 4、5
 - ～新任施設長による座談会～
- 平成22年度決算報告 6、7
- 新採用職員のご紹介 8

被災地へ届け



～いわて子どもの森～
「いわて子ども遊び隊の活動について」

いわて子どもの森では、岩手県社会福祉協議会児童館部会主催事業「いわて子ども遊び隊」により、関係団体の協力のもと、東日本大震災で被災した沿岸部の避難所や児童館を訪問し、遊びを通じて子どもたちを励ます活動を実施してきました。また、おもちゃの寄付を募集する事業「東日本大震災復興支援『遊べるもの募集!!』」により全



「ステキなバッグの完成です」

国から届いたおもちゃや文具を、被災した子どもたちに配布する活動を行っています。

これまで、陸前高田、宮古、釜石の各市内を回るとともに、被災児童の実態調査も行ってきました。元気そうに遊んでいる子どもたちですが、家族や自宅を失い、不自由な生活を送っており、心身に大きな影響を受けている様子が感じられます。

そこで、私たちは子どもたち一人

ひとりの心身の変化に十分配慮しながら、遊びを通じて信頼できる人間関係を作ったり、感情表現の場の確保を目指してきました。さらには、独自の事業として、被災地の児童を当館に招待してリフレッシュしていただいたり、育児相談を行うなどのケア体制も検討しています。

支援活動がスタートして3ヵ月が過ぎました。今後も、関係機関・団体との連携のもと、震災が心身に与える長期的な影響や、刻一刻と変化するニーズに応じた継続的な支援を行っていきたくと考えています。また、当館の多様な遊びの企画を通じて、子どもたちの笑顔を増やし、元気づけていくことで、岩手県全体が明るくなることを願っています。

(主事 吉田 豊)



釜石市内の児童館にて「みんな、ピースの飾りつけに夢中」

「常にお客様の立場にたつて」

新副理事長兼事務局局長就任にあたって

4月から、当事業団の副理事長兼事務局局長に就任いたしました。

私は、県職員として34年間、主に社会福祉や保健行政に携わり、県退職後は、岩手県社会福祉協議会で、地域福祉の推進に当たってまいりました。

この間、事業団の皆様には、様々な場面でお世話になり、事業団は、常に時代の福祉課題に率先して取り組み、本県の新しい福祉の地平を拓いて来た、志とスキルの高い頼もしい集団だと感じていました。

この度、事業団の一員として、共に仕事をさせて頂くこととなり、本当に嬉しく思っております。

当事業団は今、「自立経営の確立」に、役員一丸となって取り組んでいます。これは、より力強く私達の理想を実現し世の中のお役に立つ存在として、発展・繁栄を続けていくためのものです。



副理事長兼事務局局長
藤原 健一

【前職】岩手県社会福祉協議会 専務理事・事務局局長

事業団には、障がい者福祉の分野では、幼児期の療育から、障がい児、青年及び高齢の障がい者に至るまで、ライフステージに応じた幅広いサービスと人材が揃っています。更に、家庭的な困難等を抱えた児童の健全育成から成人の生活支援、全児童の健全育成まで、多彩なサービスと人材も抱えています。

この豊富なサービスのノウハウと人材、連携こそが、事業団の大きな強みであると思っています。

この強みを生かしながら、常に、①お客様の立場に立つて考え、喜びと感動を与える最高のサービスの提供、②イノベーションを恐れず、社会環境の変化に即応する事業への挑戦、③そのために「学習する組織」等を目指して、どのような時代が来ようとも、社会に必要とされ発展する事業団でありたいと願っています。

事業団は、良質な福祉サービスの提供を通じて、人と社会を幸福にする団体です。千業理事長の下、共に力を合わせ、事業団の事業を通じ、障がいのある人もない人も、互いに、人格と尊厳を認め合い、支え合い、その人らしく自立して共に生きる社会の実現に貢献していきたいと思っております。皆様方の御支援、御協力をお願い申し上げます。

基本理念・基本方針

岩手県社会福祉事業団

【基本理念】

私たち岩手県社会福祉事業団は、利用者の人間としての尊厳を尊重し、利用者本位の質の高いサービスを提供するとともに、その人らしい生き方ができる地域社会の実現に積極的に寄与します。

【基本方針】

- 1 利用者が安心できる利用者本位のサービスの提供に努めます。
- 2 地域福祉の拠点として、地域の多様なニーズに即応した先駆性のある取り組み並びに地域生活移行を推進します。
- 3 県立療育センターなど指定管理施設等の運営の充実を図ります。
- 4 自主的、自主的な法人経営及び施設運営の確立を目指します。
- 5 職員の資質の向上と適正な事務事業を推進します。

役員・評議員の紹介

※新はこのたび新しく就任された理事・監事及び評議員です。

理事及び監事

理 事 長	千 葉 弘
副理事長兼事務局局長	藤 原 健 一 (新)
理 事	石 田 豊
理 事	小 田 島 智 弥 (新)
理 事	小 田 島 峰 雄
理 事	菊 池 敏 夫
理 事	菅 原 貞 子
理 事	千 葉 寛 子
理 事	中 野 信 男
理 事	細 田 重 憲
理 事	青 山 良 一郎
理 事	千 葉 清 夫

評議員

岩 舘 仁 (新)	佐 々 木 忍 (新)
大 久 保 文 直	佐 藤 匡 仁
大 森 紀 代 美	柴 田 一 美
小 川 博 敬 (新)	高 橋 正 修
小 田 原 照 雄	高 橋 正 紀
小 野 寺 公 子	千 田 充
刈 谷 忠 子	沼 田 由 美
久 保 田 博	根 子 忠 美
熊 谷 久	藤 原 誠 一 (新)
児 玉 義 輝 (新)	吉 田 博 (新)
小 林 繁 春	

※アイウエオ順

みたけ学園児童デイサービスセンター

「とれいん」運行開始!!

施設は木の香りが漂う2室のプレイルームとフリースペース、小規模ながらスノーズレンルームを設置し、多様な活動を提供できるようにしました。

在 宅 障 がい 児 の 福 祉

みたけ学園児童デイサービスセンター「とれいん」が、まだ雪が舞う平成23年2月17日に運営を開始しました。「とれいん」は、「ほけつ」との利用児童の過密状態の軽減を目的として開設し、少人数で個別的な支援を行っています。

ニーズは高く、きめ細やかな支援により、地域から信頼される事業所を目指しています。

(副園長 千葉 瑞恵)

「今日のおはなしは...?」

開所式の様子

NEW 「はとホーム」開所しました。

平成23年4月、宮古市にある共同生活事業所「ちふな」の5番目のケアホームとして開所した「はとホーム」名称は、平和への願いを込めて、利用者の皆さんの全員一致で決定しました。

現在、50代から70代までの男性4人で共同生活を送っています。様々な疾患を抱えている方もいらっしゃいます。

が、健康に気をつけながら、仕事や日中活動を頑張っています。

利用者の皆さんの一人ひとりの個性を尊重しながら、いつまでも地域で安心した生活が送られるよう、世話人さんと連携し、支援していきたいと思っています。

(非常勤生活支援員 木村 慶子)

施設全体を見るという責任の重さ(山下)

藤原 4月から施設長に就任していかがですか。部下として働いていた頃との違い、補佐職のときと違った見方があるのではないのでしょうか。

女ケ沢 責任をとっても感じるようになってきましたね。副園長という中間的立場で発言したり業務に取り組んでいたのが、施設長になった途端に最終判断を求められるんです。間違いなく判断できているかなど、考えますね。

仁昌寺 施設環境整備にも、以前より気を配るようになりましたね。あと、正規職員と非常勤職員の割合が逆転しているなかで、全職員にしっかり仕事をしてもらえようと考えていかなければ、と。

山下 施設全体を見るという責任の重さですよ。以前とは比較にならないほど、非常勤職員の割合が増えている中、福祉関係の仕事の経験のない方への研修の必要性を感じますね。

佐々木 回覧される書類に目を通す時に、「最後だなあ」と。補佐として勤めていた頃も、もちろんサボっていた訳ではありませんが、やはり、最後に印鑑をつくこととの重さや責任が大きいですね。

藤田 自分自身を振り返ってみると、これまで好き勝手に物申してきたと思っっています。ところが今は、自分の発言を職員が聞いている。発言に責任をもたなく

どんな環境にも応じられる職員の育成を(仁昌寺)

藤原 経営管理者としての立場ではないでしょうか。

藤田 経営改善委員会が開催されていますが、年齢の若い委員が少ない状況にあります。平成28年度に県からの補助金なくなった時に、事業団の中心となる職員がどう捉えているのか、どこで意見を聴くのが重要になってきます。我々の年代は、若い職員への橋渡しの役として、思いを伝えていければ良いと思いません。

佐々木 事業団は県と比較すれば歴史が浅く、定年退職者が出てきたのも、先輩が退職し役職が移るという意識を持ち始めたのも、ごく最近です。ですから、若い職員はなおさら事業団の中核としてどのように働くべきか、教わってきたのではないと思います。次世代を育てる立場の我々が、若い職員にいくらでも備えてもらえるよう、頑張っていかなければなりません。

山下 専門性を持った職員を育てる必要があると思いますし、スキルアップを図る必要があります。

仁昌寺 この人でなければダメというのではなく、同じレベルで誰でも仕事ができるよう、コツをつかんでもらう必要があります。突然の人事異動で異なる施設に異動しても、その場の環境に応じられ

職員をうまくまとめ風通しの良い職場に(女ケ沢)

藤原 スバリ、施設長とは？施設長としてこうありたい、というところも併せてお聞かせください。

女ケ沢 利用者にも職員にもサービスを提供するためにも、職員集団がしっかりしていなければなりません。施設長として職員をうまくまとめ、風通しの良い職場にするため、私から挨拶するように心掛けています。

仁昌寺 障がいを抱えた高齢の利用者

女ケ沢 主幹



- 【司会】** 藤原 健一 副理事長
- 女ケ沢 信夫 やまゆり主幹兼施設長
 仁昌寺 智明 りんどう施設長
 山下 三男 かたくり施設長
 藤田 泰 つつじ施設長
 佐々木 一 晃 さくら施設長

～2011年5月27日(金)開催～
 新任の感想や想いを語っていただきました。



特別企画 座談会
 今年度、新たに就任した5人の生え抜きの施設長に



リーダーシップを発揮するため目標設定を(佐々木)

佐々木 施設長はリーダーシップを発揮

藤原 副理事長

佐々木 施設長



職員が明日仕事を頑張れる雰囲気作りを(藤田)

藤原 最後にありますが、新施設長としての抱負をお願いします。

女ケ沢 やまゆりは中山の園のグループ内でも障がいが一番重い施設ですので、やはり「安心・安全な暮らし」を目指していきたいと思っています。

仁昌寺 相手はお客様であり、サービス中心であるということを意識していきたいと思っています。

山下 利用者のニーズに的確に対応し、かたくりの生活が楽しいと感じられるよう努めたいと思います。

佐々木 生活の質の保障、利用者が希望する生活の実現に向けて頑張ります。もちろん、さくら単独ではなく、中山の園グループとして、皆で意見を出し合い、考えていきたいと思っています。

藤田 利用者、職員共に健康で楽しく暮らせる場を大切に、職員が明日の仕事頑張れる雰囲気を作っていきたいと思っています。

藤原 「完璧でなくても、常によりよく」を目指して挑戦し続け、日々できることをやり、事業団として生き生きとした強い組織作りを行っていきましょう。

その先を示すことが今を担っている人たちの責任(藤原)

藤原 28年度に注目が集まりますが、努力の先にどういう未来があるかを考えその先を示すことが、今を担っている人たちの責任でもありますよね。

その先を示すことが今を担っている人たちの責任(藤原)

藤原 知的障がい者は特に不平等な環境に置かれることが多いのが現状です。いろいろなことを考えながら、お客様の動向に対応していけば、おのずとクリアで

職員が明日仕事を頑張れる雰囲気作りを(藤田)

するために、目標を設定しなければならぬと思います。そのために、運営方針や重点項目を読み込んで理解するよう努めましたし、項目を一つずつ取り上げ、職員に説明し、理解を深めるように取り組んでいます。

藤田 高いスキルを持った職員が多いので、施設の特徴が何であるかを考え、意見や思いを出す風土づくりを行い、特色を出していきたいです。つじでは職員会議で、約束を守ることを職員にお願いしました。具体的には、挨拶など社会人としてのルールやケース記録の提出締切、法人の規則等を守ることで、広くコンプライアンスにも繋がると思っています。また、採用されて間もない職員の新鮮な考えを聞いたり、職員提案制度を活用していくことも重要ですね。

山下 役職があるから知っているわけでもないですし、勤め始めた新鮮な気持ちだから分かることもありますよね。

藤原 施設長が目標を熱く語ったり、話を聞くのは良いことですね。どんな小さなことでも、お金がないから即「ダメ」ではないはず。提案の量が質に転化するわけですから。

藤田 職員から、いろいろな意見を出せと言いつつ、その意見を潰してしまったりは意味がないと言われたことがあります。意見を出させたからには、ひとつでも実現しなければならぬと思うようになりまして。

取入	助定科目	予算	決算	差異
取入	就労支援事業収入	43,665,000	42,990,248	-674,752
取入	就労支援事業収入計(1)	43,665,000	42,990,248	-674,752
支	就労支援事業支出	45,086,000	43,439,293	1,646,707
支	就労支援事業活動収入取支差額(3)=(1)-(2)	-1,421,000	-449,045	971,955
取入	会計単位間繰入金収入	142,000	11,561	-130,439
取入	経理区分間繰入金収入	106,163,000	79,057,063	-27,105,937
取入	措置費収入	774,321,000	773,117,116	-1,203,884
取入	私的契約利用料収入	4,822,000	4,818,150	-3,850
取入	介護保険収入	2,885,000	2,866,930	-18,070
取入	自立支援費収入	2,414,811,000	2,427,834,776	13,023,776
取入	補助事業収入	115,193,000	116,331,710	1,138,710
取入	利用料収入	60,000	65,000	5,000
取入	その他の利用料収入	16,256,000	16,515,817	259,817
取入	受託事業収入	434,048,000	433,481,524	-566,476
取入	負担金収入	7,750,000	7,729,904	-20,096
取入	経常経費補助金収入	594,042,000	527,084,800	-66,957,200
取入	寄附金収入	1,869,000	2,373,561	504,561
取入	雑収入	38,816,000	39,485,340	669,340
取入	受取利息配当金収入	682,000	1,009,139	327,139
取入	福祉事業収入計(4)	4,511,860,000	4,431,782,391	-80,077,609
支	会計単位間繰入金支出	142,000	11,561	130,439
支	経理区分間繰入金支出	106,163,000	79,057,063	27,105,937
支	人件費支出	2,875,363,000	2,858,106,100	17,256,900
支	事務費支出	670,949,000	636,834,251	34,114,749
支	事業費支出	652,577,000	623,680,383	28,896,617
支	福祉事業活動収入取支差額(6)=(4)-(5)	206,666,000	234,093,033	27,427,033
取入	施設整備等補助金収入	11,005,000	10,987,300	-17,700
取入	施設整備等収入計(7)	11,005,000	10,987,300	-17,700
支	固定資産取得支出	56,809,000	54,933,587	1,875,413
支	施設整備等支出計(8)	56,809,000	54,933,587	1,875,413
支	施設整備等資金取支差額(9)=(7)-(8)	-45,804,000	-43,946,287	1,857,713
取入	積立預金取崩収入	8,350,000	5,953,000	-2,397,000
取入	その他の収入	37,230,000	39,812,686	2,582,686
取入	借入金計(10)	45,580,000	45,765,686	185,686
支	積立預金積立支出	101,184,000	82,508,000	18,676,000
支	その他の支出	41,640,000	41,296,190	343,810
支	財務支出計(11)	142,824,000	123,804,190	19,019,810
支	財務活動資金取支差額(12)=(10)-(11)	-97,244,000	-78,038,504	19,205,496
支	予備費(13)	0	0	0
支	当期資金取支差額合計(14)=(3)+(6)+(9)+(12)-(13)	62,197,000	111,659,197	49,462,197
支	前期末支払資金残高(15)	702,437,000	702,437,554	554
支	当期末支払資金残高(14)+(15)	764,634,000	814,096,751	49,462,751

損益計算書 (自) 平成22年4月1日 (至) 平成23年3月31日 (単位: 円)

科目	金額	
I 医薬収益		
1 入院診療収益	268,361,222	
2 外来診療収益	124,719,713	
3 保健予防活動収益	4,274,538	
4 その他の医薬収益	7,026,253	
合計	404,381,726	404,381,726
5 保険等査定減	0	
II 医薬費用		
1 材料費		64,358,705
(1) 医薬品費	37,686,976	
(2) 診療材料費	14,914,245	
(3) 医療消耗器具備品費	1,465,975	
(4) 給食用材料費	10,291,509	
2 給与費		352,536,938
(1) 給与	245,814,273	
(2) 賞与	35,538,454	
(3) 退職給付費用	10,069,581	
(4) 法定福利費	61,114,630	
3 委託費		64,737,898
(1) 検査委託費	1,081,085	
(2) 給食委託費	11,587,325	
(3) 器具委託費	2,069,550	
(4) 保守委託費	3,832,080	
(5) その他の委託費	46,167,858	
4 設備関係費		30,814,680
(1) 減価償却費	10,036,432	
(2) 設備賃借料	4,743,003	
(3) 地代家賃	456,770	
(4) 修繕費	11,165,893	
(5) 器械保守料	2,936,010	
(6) 車両関係費	1,476,572	
5 研究研修費		4,717,681
(1) 研究費	586,400	
(2) 研修費	4,131,281	
6 経費		79,169,204
(1) 福利厚生費	1,168,942	
(2) 旅費交通費	2,145,381	
(3) 職員被服費	1,292,768	
(4) 通信費	1,401,039	
(5) 広告宣伝費	169,050	
(6) 消耗品費	12,489,797	
(7) 消耗器具備品費	5,813,421	
(8) 会議費	5,590	
(9) 水道光熱費	49,196,659	
(10) 保険料	1,073,640	
(11) 交際費	57,000	
(12) 諸会費	382,500	
(13) 租税公課	495,000	
(14) 雑費	3,478,417	
7 控除対象外消費税等負担額	0	596,335,106
8 医療損失	0	191,953,380
III 医薬外収益		31,490
1 患者外給食収益	31,490	
2 自立支援支援費等収益	77,504,810	
3 委託事業収益	235,180,239	
4 その他の医薬外収益	2,135,128	
IV 医薬外費用		12,665
1 患者外給食費用材料費	12,665	
2 経常利益	0	122,885,622
V 臨時収益	0	0
VI 臨時費用	0	0
7 税引前当期純利益	0	122,885,622
8 法人税、住民税及び事業税	0	122,885,622
9 当期純利益	226,980,691	226,980,691
10 前期繰越利益	226,980,691	226,980,691
11 当期末処分利益	349,866,313	349,866,313

事業活動収支計算書 法人名 岩手県社会福祉事業団 施設名 第3号様式
事業グループ [1018: 法人全体 (療育特別除き)] (自) 平成22年4月1日 (至) 平成23年3月31日 (単位: 円)

取入	助定科目	本年度決算	前年度決算	増減
取入	就労支援事業収入	42,990,248	37,093,852	5,896,396
取入	就労支援事業活動収入計(1)	42,990,248	37,093,852	5,896,396
支	就労支援事業支出	25,670,879	19,321,219	6,349,660
支	期首製品(商品)たな卸高	271,160	10,030	261,130
支	当期就労支援事業製造原価	25,655,859	19,582,349	6,073,510
支	期末製品(商品)たな卸高	256,140	271,160	-15,020
支	販売費及び一般管理費	17,805,193	17,605,717	199,476
支	減価償却費	0	70,004	-70,004
支	棚卸資産増減額	-31,484	771,237	-802,721
支	就労支援事業活動支出計(2)	43,444,588	37,768,177	5,676,411
支	就労支援事業活動収入取支差額(3)=(1)-(2)	-454,340	-674,325	219,985
取入	措置費収入	773,117,116	755,385,476	17,731,640
取入	私的契約利用料収入	4,818,150	4,689,625	128,525
取入	介護保険収入	2,866,930	2,269,268	597,662
取入	自立支援費収入	2,427,834,776	2,328,373,846	99,460,930
取入	補助事業収入	116,331,710	142,096,763	-25,765,053
取入	利用料収入	65,000	0	65,000
取入	その他の利用料収入	16,515,817	17,367,888	-852,071
取入	委託事業収入	433,481,524	406,303,862	27,177,662
取入	負担金収入	7,729,904	8,001,231	-271,327
取入	経常経費補助金収入	527,084,800	620,204,627	-93,119,827
取入	寄附金収入	2,373,561	2,273,400	100,161
取入	雑収入	39,550,340	43,097,981	-3,547,641
取入	引当金戻入	99,928,458	130,829,323	-30,900,865
取入	福祉事業活動収入計(4)	4,451,698,086	4,460,893,290	-9,195,204
支	人件費支出	2,858,106,100	2,875,542,591	-17,436,491
支	事務費支出	640,130,579	637,899,581	2,230,998
支	事業費支出	623,680,383	618,346,882	5,333,501
支	減価償却費	20,924,617	14,710,177	6,214,440
支	引当金繰入	123,613,602	69,607,750	54,005,852
支	福祉事業活動支出計(5)	4,266,455,281	4,216,106,981	50,348,300
支	福祉事業活動収入取支差額(6)=(4)-(5)	185,242,805	244,786,309	-59,543,504
取入	受取利息配当金収入	1,009,139	816,398	192,741
取入	会計単位間繰入金収入	11,561	2,057,684	-2,046,123
取入	経理区分間繰入金収入	79,259,990	588,000	78,671,990
取入	事業活動外収入計(7)	80,280,690	3,462,082	76,818,608
取入	会計単位間繰入金支出	11,561	2,057,684	-2,046,123
取入	経理区分間繰入金支出	79,259,990	588,000	78,671,990
支	事業活動外支出計(8)	79,271,551	2,645,684	76,625,867
支	事業活動外収入取支差額(9)=(7)-(8)	1,009,139	816,398	192,741
支	経常収支差額(10)=(3)+(6)+(9)	185,797,604	244,928,382	-59,130,778
取入	施設整備等補助金収入	10,987,300	0	10,987,300
取入	施設整備等寄附金収入	0	3,230,680	-3,230,680
取入	国庫補助金等特別積立金取崩額	63,623	0	63,623
取入	特別収入計(11)	11,050,923	3,230,680	7,820,243
取入	国庫補助金等特別積立金積立額	10,294,300	0	10,294,300
取入	固定資産売却損・処分損(売却原価)	984,712	2,517,353	-1,532,641
取入	特別支出計(12)	11,279,012	2,517,353	8,761,659
支	特別収支差額(13)=(11)-(12)	-228,089	713,327	-941,416
取入	当期活動収支差額(14)=(10)+(13)	185,569,515	245,641,709	-60,072,194
取入	前期繰越活動収支差額(15)	635,534,790	387,597,081	247,937,709
取入	当期末繰越活動収支差額(16)=(14)+(15)	821,104,305	633,238,790	187,865,515
取入	基本金取崩額(17)	0	0	0
取入	基本金組入額(18)	0	0	0
取入	その他の積立金取崩額(19)	5,953,000	2,296,000	3,657,000
取入	その他の積立金積立額(20)	68,000,000	0	68,000,000
取入	次期繰越活動収支差額(21)=(16)+(17)-(18)+(19)-(20)	759,057,305	635,534,790	123,522,515

賃借対照表

法人名 岩手県社会福祉事業団 第5号様式
事業グループ [全体合計 (療育センター含む)] 平成23年3月31日現在 (単位: 円)

資産の部			負債の部		
科目	当年度末	前年度末	科目	当年度末	前年度末
流動資産	1,559,123,426	1,326,157,318	流動負債	408,965,477	418,436,087
現金	713,970	603,460	買掛金	3,801,773	3,780,479
当座預金	517,037,377	675,448,830	未払金	391,440,480	401,368,009
小口現金	751,561	507,811	預り金	13,723,224	13,287,509
定期預金	300,000,000	1,000	その他の流動負債	0	0
普通預金	96,277,340	102,277,789	固定負債	896,031,883	864,680,023
商品・製品	256,140	271,160	退職給与引当金	444,145,674	393,884,270
原材料	2,066,417	2,056,692	事業団退職給与引当金	322,433,774	292,504,395
医薬品等	1,202,319	2,045,984	県社協退職給与引当金	121,711,900	101,379,875
未収金	557,321,373	481,070,192	全事協退職年金共済引当金	410,153,209	428,997,753
医薬未収金	79,819,554	58,435,758	長期預り金	41,733,000	41,798,000
立替金	15,855	84,336			
前払金	3,661,520	3,332,851	負債の部合計	1,304,997,360	1,283,116,110
仮払金	0	21,455			
固定資産	1,220,571,229	1,112,970,273			
基本財産	10,000,000	10,000,000			
基本財産特定預金	10,000,000	10,000,000			
その他の固定資産	1,210,571,229	1,102,970,273	純資産の部		
建物	61,335,843	32,541,456	基本金	10,000,000	10,000,000
構築物	4,154,558	4,193,886	国庫補助金等特別積立金	10,230,677	0
機械及び装置	12,619,186	15,072,381	国庫補助金等特別積立金	10,230,677	0
車両運搬具	18,812,029	16,227,603	その他の積立金	345,543,000	283,496,000</

新採用職員紹介

よろしくお願いします




療育センター
看護部長
おい かわ さち よ
及川 幸代
〈平成23年4月1日付採用〉



療育センター
薬剤師
おの であ み き
小野寺 美樹
〈平成22年7月1日付採用〉



療育センター
作業療法士
だ さい のぶ ひろ
太細 伸広
〈平成22年9月1日付採用〉



たばしね学園
保育士
はし もと よう こ
橋本 陽子
〈平成23年4月1日付採用〉



たばしね学園
児童指導員
さ さ き なお みち
佐々木 直理
〈平成23年4月1日付採用〉



松山荘
生活指導員
さる が さわ やす こ
猿ヶ澤 康子
〈平成23年4月1日付採用〉



松風園
職業指導員(兼生活支援員)
お の であ のぞみ
小野寺 希
〈平成23年4月1日付採用〉



りんどう
生活支援員
なる お ふ み
鳴尾 芙美
〈平成23年4月1日付採用〉



つつじ
生活支援員
たか はし ゆう き
高橋 優希
〈平成23年4月1日付採用〉



こぶし
生活支援員
く どう こう へい
工藤 幸平
〈平成23年4月1日付採用〉



みたけの園
生活支援員
なか さと あや か
中里 綾花
〈平成23年4月1日付採用〉



やさわの園
生活支援員
さわ ぐち ひで あき
澤口 英明
〈平成23年4月1日付採用〉



療育センター
主事
ほん みょう ひろ たか
本明 裕孝
〈平成23年4月1日付採用〉



療育センター
保育士
はら だ とも こ
原田 智子
〈平成23年4月1日付採用〉



療育センター
主査
ひ ぐち こう き
樋口 恒輝
〈平成23年4月1日付採用〉



療育センター
看護師
すが わら けい こ
菅原 佳子
〈平成23年4月1日付採用〉



療育センター
看護師
やま した ひろ こ
山下 浩子
〈平成23年4月1日付採用〉



療育センター
看護師
さ さ き よう こ
佐々木 陽子
〈平成23年4月1日付採用〉



療育センター
看護師
たか はし み さ こ
高橋 美沙子
〈平成23年4月1日付採用〉



療育センター
相談支援員
さ どう し ほ
佐藤 志保
〈平成23年4月1日付採用〉



療育センター
相談支援員
さ の やす は
佐野 泰葉
〈平成23年4月1日付採用〉



視聴覚障がい者
情報センター
相談支援員
たか はし けん いち
高橋 健一
〈平成23年4月1日付採用〉



療育センター
相談支援員兼理学療法士
ふじ わら とも ひで
藤原 智秀
〈平成23年5月1日付採用〉



療育センター
相談支援員兼理学療法士
ふく だ り え
福田 梨恵
〈平成23年5月1日付採用〉



療育センター
相談支援員兼理学療法士
ほ さか あや か
保坂 紋加
〈平成23年5月1日付採用〉